

霧島・硫黄山における MT 連続観測

Magnetotelluric monitoring at Iwo-Yama, Kirishima volcanoes

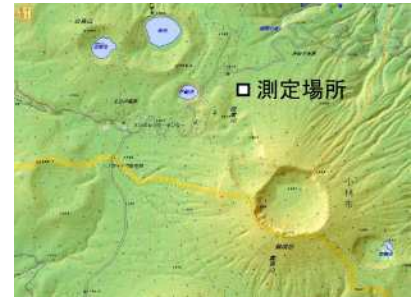
九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター*

Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

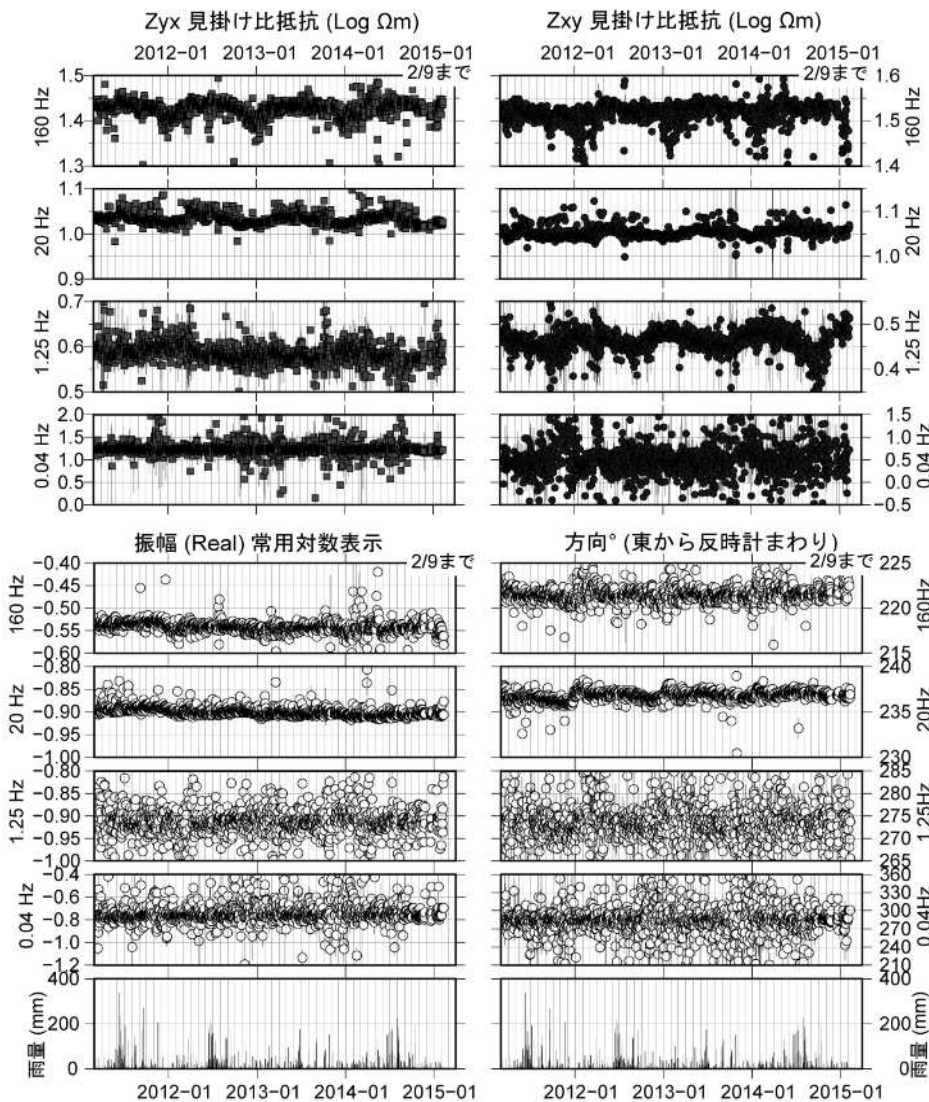
東京大学 地震研究所

Earthquake Institute, The University of Tokyo

2011年3月より硫黄山において電場2成分、磁場3成分の広帯域MT連続観測を実施している。観測された時系列データから、電場-磁場応答関数を1日ごとに決定した。見掛け比抵抗(上段)、磁場変換関数(下段)とも顕著な変化は見られない。一次元構造を仮定すると、160Hzは数10m、20Hzは200m、1.25Hzは500m、0.04Hzは3000mの深さにおおよそ対応する。最下段には気象庁えびの観測点雨量を示す。



第1図 MT連続測定地点。
Fig 1. MT measurement site.



第2図 見掛け比抵抗(上段)、およびインダクションベクトル実部(下段)の1日値

Fig 2. Temporal changes of daily apparent resistivity (upper), and daily real induction vector (lower).

国土地理院数値地図50000(地図画像)および50mメッシュ(標高)を使用してカシミール3Dで作図した。

* 2015年4月19日受付

** 相澤広記